丸子北中学校だより
Carillon times
No. 14　R7. 7. 24
発行：学校長 川口伸哉

【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

＜「１年：宿泊学習」「２年：職場体験学習」「３年：進路学習・体験学習」＞

～自分の生活や将来の生き方を考える上で、とても価値のある学習になりました～

７月１６日（水）～１８日（金）の３日間は、学年ごとに特別日課を組み、１年生は宿泊学習、２年生は職場体験学習、３年生は進路学習・職業学習（ものづくり）を実施しました。

１年生は、１泊２日で上田市の「菅平高原」で宿泊学習を行ってきました。私も同行し、１年生と一緒に学習してきました。私は、菅平高原のスキー場には何度も訪れたことがありますが、冬季以外で訪れることはほとんどないので、菅平高原の自然の豊かさと美しさを全身で味わうことができ、とても満足です。天気予報では、２日間、雨天の可能性が高かったのですが、２日目に少し雨がぱらついた程度で、すべての活動を計画通りに行うことができ、職員一同、嬉しく思っています。今年度は目的地を上田市内に変更して行いましたが、目的地が学校から近いことによるメリットを多く感じることができました。

子どもたちは２日間、元気いっぱいに楽しく過ごすことができていたと思います。けじめのある行動や仲間と協力しながら行動する姿が様々な場面で見ることができたことから、宿泊学習の目標は達成できたと思います。２学期からの生活でも学年・学級の仲間と協力し合う行事がいくつもあります。高まった団結力で、すべて成功させてほしいです。

自然散策

キャンプファイヤー

バイキング

オリエンテーリング

カレーづくり

２年生は、職場体験学習を行いました。今年も残念ながら、生徒の仕事をしている姿を直接見ることができませんでしたが、教頭や担当職員の話から、どの職場でも一生懸命に仕事をしていたことを聞き、嬉しく思います。生徒が仕事をしている様子の写真をすべて見ましたが、どの写真からも生徒の一生懸命さと学ぶ意欲が伝わってきました。何人かの生徒の事前打合せの様子を見ていましたが、緊張しながら言葉を選んで職場の方と会話している生徒の姿がとても印象的で、心に残っています。

どの職場でも、社会人として、また働く上で、身につけて高めていかなければならないことを多く学ぶことができたと思います。学んだことは決して忘れずに、将来の仕事に役立ててほしいです。

２学期は部活動や生徒会が３年生から引き継がれ、２年生が全校をリードしていく役目を担います。そのためにも、多くのこと吸収し、力を蓄えていってほしいと思います。

農園にて

鉄道会社にて

洋菓子店にて

衣料品販売店にて

スーパーにて

３年生は、「前期選抜対策テスト」「将来世代と地域をつなぐプロジェクト・体験学習（ものづくり）」「進路講話（高校の先生方による）」を３日間で行いました。３日目の進路講話は私も見学し、生徒が真剣にメ

モを取りながら講師の先生のお話を聞いている姿を確認することができました。講師の先生のお一人がお帰りになる際、「北中の生徒は話を聞く姿勢がとてもいいですね」とおっしゃってくれました。とても嬉しく思います。

２日目は、ものづくりの専門の方々からご指導をいただきながら体験学習を行いました。体験学習を通して、目指す将来の職業が見えてきた人、職業選択の幅が広がった人、それぞれだと思いますが、さらに自分でも情報を取集しながら、自分の道を決めていってほしいです。この体験学習には、丸子地区の事業である※ＷＣＩ（ワールドキャンパスインターナショナル）の訪日団の方々も参加し、交流活動も行いました。日本の優れたものづくりの技術を学ぶことができたこと、また、中学生と交流できたことをとても喜んでいらっしゃいました。本校としてもありがたいことです。

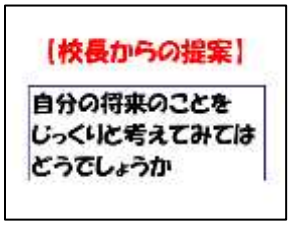
３年生の中学校生活は２学期と３学期を残すだけとなります。生活の目標をきちんと持ち、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

※ＷＣＩ：日本の各都市でホームステイをしながら日本の文化や伝統を学び、地域との交流活動を行う事業

＜１学期が終了しました＞　～夏休みは、自分の将来のことを考えてみましょう～

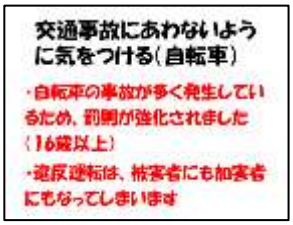
本日の１学期の終業式は、暑さ対策のために、体育館ではなく、オンラインで行いました。始業式や終業式では、各学年の代表生徒が生活の振り返りや次に向けた目標などを全校生徒の前で発表するのですが、オンラインであると聞き手が目の前にいないので、発表の仕方に工夫が必要です。しかしながら、代表の皆さんは、体育館での発表と同じように、目線や声の大きさを意識しながら、まるでニュースキャスターのように分かりやすく内容を伝えることができていて、とても感心しました。私の発表よりも上手であったと思います。２学期始業式での代表生徒の発表も楽しみにしています。

さて、校長講話では、下記の内容を全校生徒に話しましたので、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたく思います。



■どの学年の皆さんも、日々着実に成長してきている。昨年度のこの時期と比べて、とてもよくなっていると感じているのは、「挨拶」と「授業中の仲間と関わり」である。「挨拶することのよさ」や「仲間と関わりながら学習することの効果」はたくさんあるので、このよい姿をぜひ定着させていってほしい。

■特別日課で各学年の行事を行ったが、すべて成功し、嬉しく思っている。どの学年の学習も、皆さんにとって有意義なものであり、これからの生き方や進む道について考える機会にもなったと思う。そこで、私から皆さんに、「夏休みの時間を使って自分の将来のことをじっくり考えてみてはどうか」という提案をする。普段なかなかできないことをやってみたり、新しいことをやってみたりすることも将来に向けての目標を見つけるのに役立ち、また、地区行事に参加することも何かしらの収穫はあると思う。



■夏休みの生活で、特に注意してほしいことは「交通事故に遭わないこと」である。長期休みは、小中学生の自転車運転中の事故が多くなると言われているので、自転車の乗り方に気を付けてほしい。法律が改正され、自転車の運転に関する厳しい罰則ができたので、それらを理解し、安全に運転してほしい。

■柔道部の選手と陸上部の選手が、県大会で好成績を収め、北信越大会への出場権を獲得した。とても素晴らしいことである。私たち全員が応援しているので、全力で競技に臨んできてほしい。

保護者の皆様には、２学期からも引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。